

# 平成22年度大館市功労者

## 長年の功績に深く敬意を表します

大館市功労者表彰は、市勢の発展、社会福祉増進、産業の振興、保健衛生の向上など、広く市民の模範となる功労があった個人や団体に対して行われます。毎年、市の記念日である4月1日に表彰式が行われ、今年度は次の方々が表彰されました(50音順)。



あぶ かわ けい いち  
蛇川景一氏 (櫃崎・72歳)

昭和50年から12年間、大館市議会議員として地方自治進展に寄与され、その間、市民文化会館建設特別委員会副委員長、交通対策特別委員会委員長などの要職を歴任し、文化会館建設や駅の無人化対策に尽力されました。

また、平成12年からは、あきた北農業協同組合代表理事組合長に就任し、豊富な農業経験を生かして農協の経営健全化に積極的に取り組み、さらには、二井田真中土地改良区監事を13年間、大館・北秋田比内鶏生産連絡協議会会長を22年間務めるなど、本市の農業振興と特産振興に多大な貢献をされました。



い とう くに ひろ  
伊藤國弘氏 (有浦3丁目・80歳)

平成6年から大館曲ワッパ協同組合の要職を務め、平成8年には理事長に就任。財政難だった組合の立て直しに尽力され、さらには曲げわっぱの組合を一本化して、後継者育成や原材料確保に一丸となって取り組む礎を作り上げました。

また、枯渇する天然秋田杉の代替材として高齢級人工杉を育成するため「曲げわっぱの森」の設置を積極的に推進し、さらに、大館曲げわっぱのブランド化の促進と新たな伝統工芸士の誕生を実現するなど、大館曲げわっぱ産業の振興と知名度の向上に多大な貢献をされました。



さわ の ただ お  
澤野忠雄氏 (昭和町・83歳)

昭和町火災予防組合結成時から組合員となり、昭和47年には同組合長に就任。以来38年間、地域防災のリーダーとして災害に強い地域づくりに多大な貢献をされました。また、平成16年には大館市火災予防組合連合会会長に就任。自主防災活動を積極的に推進し、市全域の防災・防火意識の啓発に尽力されました。

一方で、昭和45年から39年間、昭和町町内会長を務め、城西学区町内会長連絡協議会設立にも貢献されました。平成15年の城西小学校改築では、同校校舎改築期成同盟会会長として、地域の教育環境整備に尽力されました。



なが わら のぼる  
菅原昇氏 (羽立・70歳)

昭和54年から12年間、大館市議会議員を務め、国保運営協議会委員や土地開発公社理事などの要職を歴任。特に、農林業所管の委員会には10年間所属し、現場で培った豊富な経験と理論で、本市農林業の発展に寄与されました。

また、平成3年から16年間、秋田県議会議員として、建設委員長、決算特別委員長などの要職を歴任し、地方自治進展に多大な貢献をされました。

一方で、平成2年から平成19年までの18年間、大館市遺族会会長を務め、本市戦没者遺族の援護に尽力されました。